

§ 5 団と隊

第1日目 11/ 9 19:00 ~ 21:00(120分)

場所：セッションルーム 担当：小林敏彦

目標

参加者は、このセッション終了時に、次のことが達成できる。

1. 団、隊の組織と機能を説明できる。
2. 団、隊運営の問題点を抽出できる。

指導上のねらい

1. コミッショナーとして団委員会の役割と機能を明確に理解させ、支援を行う場合にわかりやすく説明できるようにする。
2. コミッショナーとして隊指導者（特に隊長）の役割を明確に理解させ、支援を行う場合にわかりやすく説明できるようにする。
3. 団と隊の関連（団委員会は隊活動への支援をすることが主たる役割であること等）についてわかりやすく説明できるようにする。
4. 団はスカウト教育を実施する身近で有効な組織であることを理解させる。
5. 隊は、スカウトに直接関わり、指導できる身近で最小の組織（単位）であることを理解させる。
6. 育成会は団を有形・無形で支える有力な助っ人であり、いろいろな方法で支援を受けられるように努力する必要があることを理解させる。
7. 団、隊の組織と機能を理解することで、支援するための基本的情報となる団・隊運営の問題点を抽出できるようにする。

スタッフの仕事

1. グループ作業時に、各グループ員が§担当者の説明を十分に理解しているかを読み取りながら、課題に沿って討議・検討がされているかに注目をする。

準備品

1. 日本連盟発行図書「団の運営と団委員会」
2. ハンドアウト5-1 隊指導者等の任命などについて（参加者用）
3. ハンドアウト5-2 隊指導者等の任命などについて（所員用）
4. ハンドアウト5-3 団、育成会、団委員会について（参加者用）
5. ハンドアウト5-4 団、育成会、団委員会について（所員用）
6. ハンドアウト5-5 「課題資料：団、隊の現状（武庫川第99団）」（P.28 参照）
7. ワークシート5-1（P.29 参照）

セッション運営要項作成にあたって

1. セッションの概要と展望

- (1) スカウティングを実施する最大の組織は団である。 団は複数の隊を設置し、隊指導者によりスカウティングのプログラム活動を実施している。
- (2) すべてのコミッショナーは、団と隊の機能と関連を十分に理解している必要がある。
- (3) 団・隊の組織と機能を理解することにより、団・隊運営の問題点が明確になり、良い運営に向けての支援ができる。

セッションの進め方

1. 導入（講義） (10分)

- (1) 我が国におけるスカウティングは、複数の隊からなる“団、”を中心に展開される。
- (2) コミッショナーの最大業務は、隊や団の運営にあたる指導者への“支援、”である。
- (3) 従って、すべてのコミッショナーは団と隊の機能と関連を十分に理解している必要がある。

2. 展開（講義・実習） (95分)

(1) 団の組織

① 団委員会の役割と機能

- ・ 団の構成と定義について（教育規程3-1, 3-2）

② 団委員長と団委員について

- ・ 団委員長の選任と任期、団委員長の資格（教育規程3-10、3-11）
- ・ 団委員長の任務（教育規程3-12）

③ 育成会の役割と機能

- ・ 育成会の設立とその任務について（教育規程3-3、3-4）
- ・ 育成会の組織と運営について（教育規程3-5、3-6）

(2) 隊指導者

① 隊指導者の役割

- ・ 各課程別指導者の役割の違い（スカウトの違い）…（教育規程3-16以降、課程別）

② 隊指導者の資格と要件

- ・ 隊指導者に共通するものと課程別による違い…（同上）

③ 隊指導者の選任と任命

- ・ 隊指導者に共通するものと課程別による違い…（同上）

(3) 団委員会と隊指導者の連携

① 団会議の構成と機能（教育規程3-15）

② 団委員会の構成と機能（任務）（教育規程3-7～9）

③ 団会議と団委員会の連携

- ・ 団会議と団委員会の違いは
- ・ 果たすべき役割の違いは…目的・目標の違い、機能の違い、構成員の違い
- ・ 同じ目的、目標に向かった役割の違い

(4) グループ作業

① 課題

<課題>

配布した「課題資料：団、隊の現状」資料を確認し、問題と思われる点を抽出してください。

また、その問題点を解決するためには、「団委員会」・「隊指導者」あるいは「団委員会と隊指導者の協同」のうち、どこが主体となるべきかを検討し、分類してください。

②課題の説明

- ・「課題資料:団、隊の現状」より、このケーススタディの団、隊における問題点を洗い出す。
 - ※ 幅広い観点より考察を行い、多方面での問題点の抽出を心掛けるようにアドバイスを行う。ワークシートの各項目の「標準」欄に対応する「現状・問題点」の記述を行なう。
- ・抽出された問題点を解決するにあたり、「団委員会」「隊指導者」あるいは「団委員会と隊指導者の協同」の解決主体を検討し、ワークシートの「解決主体」の欄の該当する主体に○印で囲む。
 - ※ 分類を行うには、団委員の役目についての十分な理解が必要であるため、セッションの講義内容、教育規定等を参照するようにアドバイスを行う。特に、解決のための具体的な取組み内容は異なるが「協同」で行うものについて丁寧に説明する。

③グループ作業の実施

- ※ 各チューターはグループ作業展開に際し、以下の点に留意のこと。
- ・グループ作業ではあるが、全員が参画するよう留意する。
- ・問題点解決主体の分類が混同しないよう、適宜、アドバイスをおこなう。

④グループ作業の発表

- ※ 分類、発表時にそれぞれの役務を混同していないか、現状の団・隊の運営方法に引きずられていないかに注意しながら各グループの発表を分析、評価する。

3. まとめ (10分)
- (1) グループ作業の発表をもとにセッション担当者が講評を行う。
 - (2) 団委員会及び隊指導者のそれぞれの役割を各自が再確認するとともに、ともに連携することが重要である。

4. 振り返り (5分)

以上

モデル団(武庫川99団)

団の概要

この団は、親団より分封を行ない、22年になる。
 CSスカウトだけで分封をした後、スカウト数も増え、一時はCS隊5組(30名)、BS隊4組(34名)、総数100名のスカウトの時期もあった。
 地域の成熟化に伴い、スカウト人口、小学生年代の子どもが少なくなった
 地域内に2校あった小学校も統合され1校になっている
 新規スカウト獲得のために、年2回ほどの体験入隊を実施。活動地域を地下鉄沿線沿いに新しい新興住宅地へと広げている。
 団委員長は、分封前よりの指導者で今は数少ない昔を知る人間の1人。地区総務委員長。
 団委員長は4年ほどで交代を繰り返してきたが、指導者の減少もあり、今の団委員長は10年になる。

スカウト数

		計	BVS	CS	BS	VS	RS
スカウト	男	24	2	8	4	5	5
	女	13	3	8	1	0	1
	計	37	5	16	5	5	6
指導者		14	1	7	3	2	1

団委員 8

隊指導者のプロフィール、研修歴

BVS、CS、BSの隊長は各課程の研修所修了者。VS隊長はVS研修所未修了。
 BVS隊隊長は団委員長が兼務。プログラムがマンネリ化。隊長暦15年。
 BS副長に日本連盟のトレーナーが1名。この者以外はWB実修所、団運営研修所修了者は居ない。
 CS隊隊長はスカウト経験者だが、頑固者で、CS隊の野外活動には消極的。隊長暦3年目。
 BS隊隊長は活動には熱心だが、野営技能に乏しい。隊長暦5年目。
 数年前までは、菊スカウトを毎年数名輩出していたが、ここ数年は出ていない。信仰奨励章取得者はゼロ。
 VS隊隊長はまじめだが、プロジェクトへの指導に迷いがあり、なかなか活動に結びつかない状況。過去、この団で富士スカウトは出ていない。隊長暦6年目。
 RS隊は一部のスカウトが団行事に奉仕を行なっているが、それ以外の活動はしていない。隊長はいない。

運営、会議の状況

団委員会、団会議は毎月定例に開催されているが、分かれていない。
 地区のRT(ラウンドテーブル)にはどの隊長も欠席が多い。副長はほとんど出席していない。
 隊集会計画書は作成されているが、安全対策計画書は作成されていない。

BS隊の状況

BS隊は1個班編成
 BS隊長: 51歳、スカウト経験はないが、熱心。最近、地区の副コミを引き受け、多忙気味。
 BS副長①: 54歳、スカウト経験はない。先代の隊長。BS実修所修了者。
 BS副長②: 49歳、スカウト経験者。研修はBS講習会のみ。山歩きは趣味。料理はプロ並。

班長: 中学2年生。中学3年生は辞めてしまい、この者が最年長。スカウト活動も嫌いではないが、クラブ活動も熱心で、泊まりの活動は出て来れない。2級スカウト。他の履修は済んでいるが、1級キャンプができず、進級できない。ジャンボリー経験者。

次長: 中学1年生。CSからの上進者。父親がCS隊隊長。技能に熱心で、積極的。難点は、時間にルーズなところ。ジャンボリー経験者。

班員3名は中学2年が2名、クラブ活動が許す範囲で参加。小学校6年生1名は班長の弟。活動は休まない。

班長会議はGB会議として、毎月定例に開催(第1日曜日、夜)。

活動内容により、そのときに班長訓練を実施。

隊集会はつき1回を目処に実施。班集会は隊集会前に短い時間で実施。

ただし、3月春休み恒例のプログラム(青春18切符を使った、小旅行)においては複数の班集会を経て実施。スカウトの参加率も100%(過去も同様の傾向)

BS隊の年間プログラム

9月	上進式、スカウトの日(カントリー大作戦、奉仕活動)
10月	歓迎キャンプ、CS隊運動会奉仕
11月	地図ハイキング(読図、コンパス、座標読み、地図記号)
12月	クリスマス会(地域の神父さんのお話を聞く。ゲーム大会)
1月	団新年式、地区左義長祭り(火祭り)奉仕
2月	団スキー
3月	小旅行(青春18きっぷ)
4月	スカウトラリー(地区行事)、ラリーに向けての技能訓練
5月	ハイキング、神戸まつりパレード参加(地区行事)
6月	魚釣り、クマ体験キャンプ(上進キャンプ)
7月	訓練キャンプ(隊キャンプ、合同キャンプ)
8月	4泊5日のキャンプ(県、地区、団、ジャンボリーとでサイクルで実施)

項目		団委員会	隊				
スカウト人数	標準	/	BVS 10~20人	CS 6人×4組	BS 8人×4班	VS 3~20人	RS 3~30人
	現状・問題点						
	解決主体		団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同
指導者	標準	団委員長 30歳以上	BVS 隊長・副長 隊長25歳以上	CS 隊長・副長 隊長25歳以上	BS 隊長・副長 隊長25歳以上	VS 隊長・副長 隊長25歳以上	RS 隊長・副長 隊長30歳以上
	現状・問題点						
	解決主体	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	
指導者研修歴・ その他資質	標準	団委員：団運営研修所への参加努力 団委員長：隊長として1年以上	BVS WB研BVS	CS WB研CS	BS WB研BS	VS WB研VS	RS WB研RS
	現状・問題点						
	解決主体	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	
会議の開催及び 出席状況	標準	団会議／団委員会	隊集会	組集会/隊集会	班集会/隊集会	隊会議	隊集会
	現状・問題点						
	解決主体	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	
訓練・プログラム	標準	/	集会/出席状況等	集会/出席状況 /進歩状況等	集会/出席状況 /進歩状況等	集会/出席状況 /進歩状況等	集会/出席状況 等
	現状・問題点						
	解決主体		団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同